

高齢者の食料品購入と 医療受診における行動調査

天野 圭子¹・北川 博巳²

¹非会員 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 (〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070)
E-mail: amano@assistech.hwc.or.jp

²正会員 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 (〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町1070)
E-mail: kitagawa@assistech.hwc.or.jp

本研究では在宅自立高齢者の(1)a食料品購入、b)医療受診に特化した生活行動の現状、(2)移動の傾向、(3)この2つの生活行動をより充実させるために望むサービスについて、兵庫県猪名川町で65歳以上の住民を対象にアンケート調査を行った。その結果、(1)医療受診では大多数の者が通院しているのに対し、食料品を自ら購入する者のうち買物施設まで出かけるのは8割であった。買物施設へ出かけない層は、自動車免許を持たず、宅配サービスの利便性が良い地域、もしくは、買物施設から遠い地域の居住者であった。また、単独歩行可能時間が短くなるにつれて1人で買物施設へ行く率は減少するが、他者と出かける場合では差がみられなかった。(2)食料品購入、通院ともに目的施設までの移動方法は似た傾向だが、所要時間は通院の方が食料品購入よりも長い。(3)充実を望むサービスは食料品購入では宅配サービス、医療受診では通院手段であり、自ら目的施設へ出かけるのか、サービスが自宅まで来るのか異なっている。

Key Words : *the Elderly at home, grocery shopping, medical visits*

1. はじめに

高齢者の地域居住を考えるうえで、居住地から施設までのアクセスのしにくさがフードデザート問題、医療機関へのかかりにくさなど健康状態の維持に及ぼす影響が問題視されている。そこで本研究では在宅自立高齢者の(1)a)食料品購入、b)医療受診に特化した生活行動の現状把握、(2)移動の傾向、(3)この2つの生活行動の充実をよりはかるために望むサービスの3点に着目した。なお、本調査では食料品の定義を「生鮮を中心とした食材、加工食品(総菜、弁当等含む)」とした。

2. 調査概要

調査は兵庫県猪名川町で65歳以上の住民を対象にアンケート形式により行った。猪名川町は南部に大規模ニュータウン(以下、NT)、北部には市街化調整区域が広がり、今回調査対象とした地域は次の通りである(括弧内は、入居開始年(NTのみ)/高齢化率)。阪急日生NT内の(A)松尾台地域(1975年/33.2%)と(B)伏見台地域(1975年/34.1%)、猪名川パークタウン内の(C)白金地域(1986年/10.7%)、(D)市街地調整区域である北部地域内の大島小学校区(以下、北部)

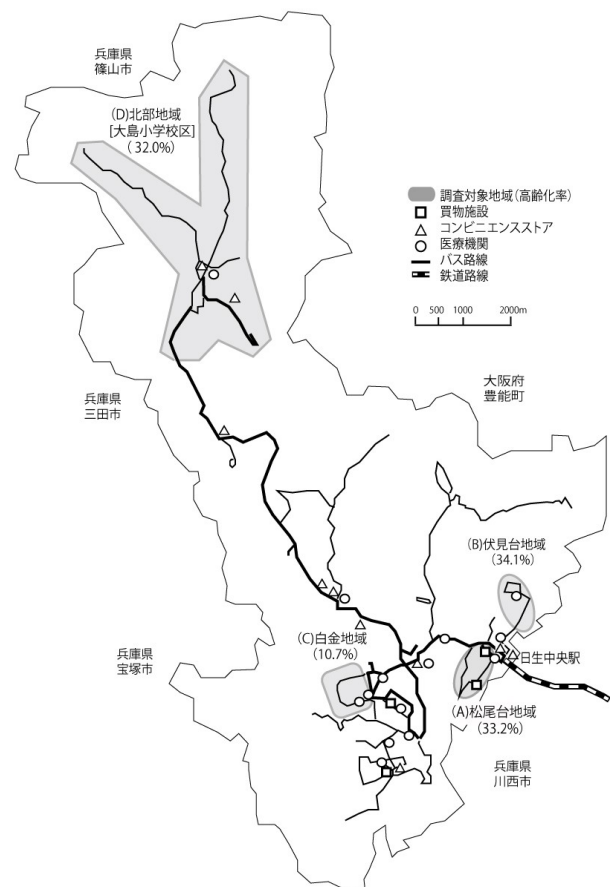


図-1 調査対象地(兵庫県猪名川町)の概要

(32.0%)。配布地域および町内の買物施設、医療機関の位置を図1に記す。なお、宅配サービスは生協が今回の調査対象地の全エリア、大手買物施設が白金地域で行っている。調査の実施時期は2012年1月、配布数993票、有効回答数646票、有効回答率65.1%である。なお、本調査の目的が在宅自立高齢者の食料品購入・医療受診に焦点をあてているため、施設入居者、長期入院者、在宅であっても外出しない者は集計段階で除いている。回答者の基本属性は表-1の通りである。

運転免許の保有状況は性別と年齢による傾向が現れた。自動車免許は男性では全体の86.4%が保有しており、特に75歳未満では9割に達する。一方、女性の場合は全体でも3割程度に留まり、自動車、自動二輪、原付限定いずれの免許も取得経験のない者が半数に及ぶ。免許証の返納は、男女ともに70歳未満ではみられないが、男性では80歳以上で1割、女性は75歳以上80歳未満の1割が該当した。女性の80歳以上は同年代の男性よりも返納者率が低いが、未取得者が7割強と多いためと考えられる(表-2)。

また、本研究における歩行能力の指標を①単独で歩行可能、かつ、歩行補助用具は使用しない者(以下、単独歩行者)、②単独で歩行可能、かつ、杖・シルバーカー等の歩行補助用具を使用する者(以下、歩行補助用具使用者)、③歩行時に介助(付添い)が必要な者(以下、介助(付添い)必要者)の3つに分け、さらに①単独歩行者については、歩行可能な時間の上限値(以下、歩行可能時間)によって5段階で区分することで、計7段階の分類とした。詳細な区分と該当者数は表-3の通りである。今回の回答者の傾向は単独歩行者が95%を占めるが、1時間以上休むことなく歩行可能な者は全体の半数を切り、同様に10分から30分、30分から1時間の者がそれぞれ4分の1弱である。歩行可能時間が10分未満、歩行補助用具使用者、介助(付添い)必要者も全体としては僅かではあるがみられた。なお、今回の回答者において、こうした歩行能力の違いから日常の基本的な外出にどの様に差があらわれているのかみたのが図-2である。目的別に最も該当率の高い数値と低い数値の差をみると医療受診はほとんどの回答者が通院しているため差はみられないが、買物(食料品以外)(差は72.4%)、知人と会う(差は62.5%)、余暇活動(差は55.1%)でばらつきがみられ、

表-1 回答者の基本属性

性別	男性	347	53.7%	居住地	(A)松尾台	86	13.3%
	女性	282	43.7%		(B)伏見台	147	22.8%
無回答	17	2.6%	(C)白金	162	25.1%		
年齢	70歳未満	218	33.7%	(D)北部	203	31.4%	
	70-74歳	166	25.7%	無回答	48	7.4%	
	75-79歳	118	18.3%				
	80歳以上	131	20.3%				
無回答	13	2.0%					

表-2 運転免許の保有状況

	上段: 回答数/下段: 構成比(%)						母数合計
	自動車	自動二輪	原付限定のみ	免許証返納済	いずれも未取得		
男性	70歳未満	121	28	0	0	6	129
	70-74	92	17	0	2	6	101
	75-79	48	9	0	5	7	61
	80歳以上	37	6	1	6	7	54
	合計	298	60	1	13	26	345
女性	70歳未満	50	3	10	0	24	88
	70-74	29	5	3	1	25	62
	75-79	8	0	0	6	33	56
	80歳以上	4	0	2	7	66	90
	合計	91	8	15	14	148	296

※無回答除く

表-3 本研究における歩行能力の指標と該当者数

	実数(人)	割合(%)
①単独で歩行可能な者		
(a)1時間以上休むことなく歩行可能	290	44.2
(b)休むことなく歩行可能な時間の上限値が、30分以上~1時間未満	145	22.1
(c)休むことなく歩行可能な時間の上限値が、10分以上~30分未満	146	22.3
(d)休むことなく歩行可能な時間の上限値が、5分以上~10分未満	28	4.3
(e)休むことなく歩行可能な時間の上限値が、5分未満	17	2.6
②単独で歩行可能な者(歩行補助用具を使用する)	15	2.3
③歩行時に介助(付添い)が必要な者	15	2.3

※歩行補助用具とは杖・シルバーカー等とする

※無回答は除く

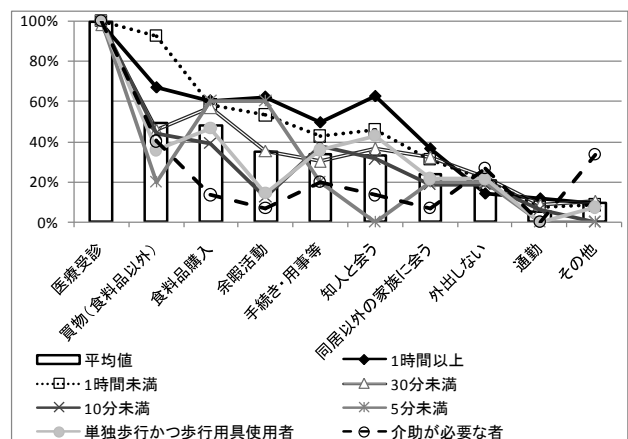


図-2 高齢者の外出目的(歩行能力別)

特に、単独で長時間歩行が可能と単独ではあるが歩行可能時間が5分未満の者、介助（付添い）必要者の間で差がみられた。

3. 調査結果

(1) 生活行動の現状

食料品購入と医療受診の生活行動の現状についてみた。

a) 食料品購入

自ら食料品を購入しているのは全体の56.3%であり、そのうち8割が商店まで買いに出かけている。商店までの移動方法は自分で運転が半数（173名）を超え、次いで徒歩20.8%（69名）、同居家族の運転14.2%（47名）、バス（民間バスとコミュニティバスを合わせる）1割程度（29名）、その他はさらに低い（図-3）。一方、買いに出かける者が他と比べて少ない層は、自動車免許を持たず、かつ、白金在住者（買いに出かける者は71.7%）と、北部在住者（買いに出かける者は67.4%）であり、逆にこれらの層で多くみられたのは自宅まで商品が届けられる宅配サービスの利用であった（表-4）。

歩行能力別にみると自分一人で商店まで出かけて購入する者は歩行可能時間が30分を切ると減少傾向にあり、歩行可能時間が5分未満では1割程度まで下がる。一方、歩行可能時間が短くなるにつれ増加傾向にあるのは自分では購入しない者であり、5分未満で68.8%が該当する。また、自分一人で購入するが商店には出かけない者は歩行に介助（付添い）が必要な者の内、半数を占めている。なお、他者と一緒に商店まで出かける場合にはいずれの属性においても2割前後が商店まで出かけており、歩行能力による差はほぼみられなかった（図-4）。

b) 医療受診

受診方法は98.9%が通院であり、自宅で医師による往診はほぼみられなかった。また、現在定期的に通院している者は2割である。通院手段は、自分で運転41.0%（219名）、徒歩26.8%（143名）、同居家族が運転12.9%（69名）、バス（民間バスとコミュニティバスを合わせる）1割程度（44名）と食料品の購入者が商店へ出かける場合と似た傾向である。（図-3）。

(2) 移動にかかる所要時間

外出する場合の主な移動手段である自動車（自分以外の運転に同乗も含む）、徒歩、バスの3種に着目し、居住地、目的地までの所要時間との関係を見た。a)食料品購入の場合、大半が家から30分圏内の移動である。特に、白金、伏見台では自動車を利用して10分圏内が多く、松尾台では徒歩で30分圏内がみられた。北部では所要時間が他の地域よりも長く、自動車でも10分から30分、バスで

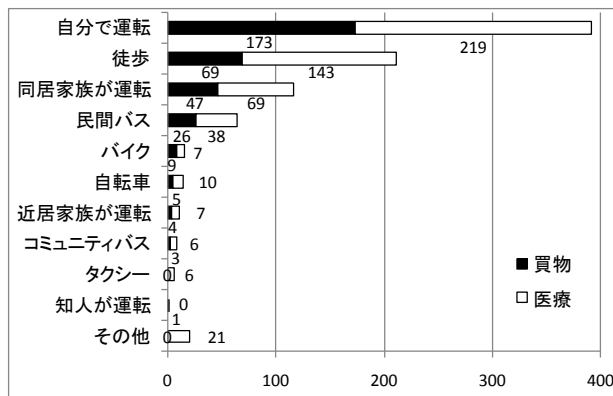


図-3 移動手段

表-4 食料品購入の方法

		上段:回答数/下段:構成比(%)					
		商店	宅配	移動販売	買物代行	その他	合計
自動車免許あり	松尾台	28 84.8	4 12.1	0 0.0	0 0.0	1 3.0	33 100.0
	伏見台	63 78.8	11 13.8	5 6.3	0 0.0	1 1.3	80 100.0
	白金	51 86.4	7 11.9	0 0.0	0 0.0	1 1.7	59 100.0
	北部	52 86.7	5 8.3	2 3.3	0 0.0	1 1.7	60 100.0
	合計	194 83.6	27 11.6	7 3.0	0 0.0	4 1.7	232 100.0
	自動車免許なし	松尾台	21 84.0	3 12.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0
伏見台	19 82.6	4 17.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 100.0	
白金	33 71.7	12 26.1	0 0.0	1 2.2	0 0.0	46 100.0	
北部	31 67.4	12 26.1	1 2.2	1 2.2	1 2.2	46 100.0	
合計	104 74.3	31 22.1	1 0.7	2 1.4	2 1.4	140 100.0	
全体合計	298 80.1	58 15.6	8 2.2	2 0.5	6 1.6	372 100.0	

※無回答除く

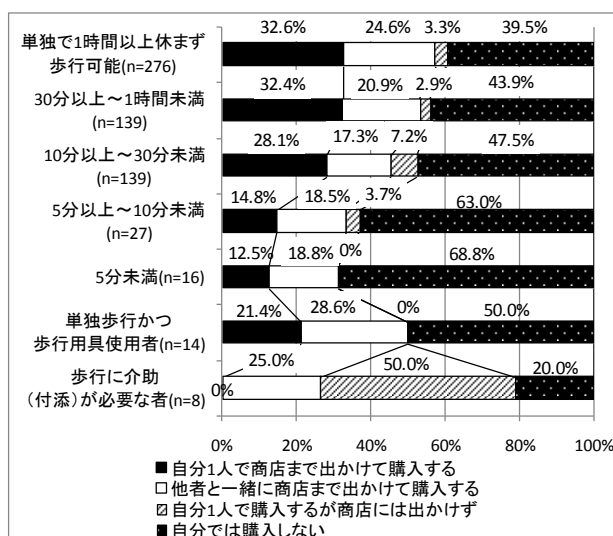


図-4 食料品購入と歩行能力

は1時間以上かかるケースもみられた。b)通院は、食料品購入よりも所要時間が全般的に長く、30分以上かかる場合が白金と伏見台でそれぞれ1割、北部で2割みられており、うち8名がバス、6名は徒歩である(表-5)。

4. 充実を望むサービスについて

食料品購入と医療受診の充実をよりはかるために求めるサービスについてみた。a)食料品購入では、宅配サービスが最も多く全体の21.1%、次いで移動手段が16.8%である。地域として宅配サービスがより選ばれているのは自動車免許の有無に関わらず松尾台である。また、移動手段は北部在住かつ自動車免許を持っていない者の4割が挙げている(図-5)。一方、b)医療受診においては、移動手段が全体の32.3%と最も多く、往診は13.0%である。移動手段は、特に北部在住で自動車免許を持たない者に選ばれており57.6%に達する。また、往診についての要望は自動車免許の有無で大きく異なっており、自動車免許を持つ者はいずれの地域であっても往診を選んだのは約1割であるが、自動車免許を持たない者のうち松尾台を除いた他の地域では、自動車免許を持っている場合と比べれば選ぶ率が上がり、伏見台、北部では2割を超えている。(図-6)。

5. まとめ

本研究で得られた知見を以下にまとめる。

- (1)生活行動の現状：医療受診では大多数の者が通院しているのに対し、食料品を自ら購入する者のうち、買物施設まで出かけるのは8割である。買物施設へ出かけない層は、自動車免許を持たず、宅配サービスの利便性が良い地域、もしくは、買物施設から遠い地域の居住者であった。また、単独歩行可能時間が短くなるにつれて1人で買物施設へ行く率は減少するが、他者と出かける場合には歩行能力による差がみられなかった。
- (2)移動の傾向：食料品購入、通院ともに目的施設までの移動方法は似た傾向にあるが、所要時間は通院の方が食料品購入よりも長い。
- (3)充実を望むサービス：食料品の購入では宅配サービス、医療受診では移動手段であり、自ら目的施設へ出かけるのか、サービスが自宅まで来るのか異なっている。また、北部の市街化調整区域では自動車免許の有無に関わらず食料品購入、通院ともに移動手段が望まれ、特に自動車免許を持っていない者の通院で顕著であった。

表-5 移動にかかる所要時間

	食料品購入							通院						
	5分以内	10分以内	30分以内	1時間以内	1時間以上	合計	5分以内	10分以内	30分以内	1時間以内	1時間以上	合計		
	上段: 回答数	下段: 構成比(%)						上段: 回答数	下段: 構成比(%)					
松尾台	自動車	5	2	1	0	0	8	4	3	5	1	0	13	
		62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	100.0	30.8	23.1	38.5	7.7	0.0	100.0	
	バス	0	0	0	0	0	0	10	3	4	0	0	17	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.5	17.6	23.5	0.0	0.0	100.0	
伏見台	徒歩	8	5	5	0	0	18	0	0	0	0	0	0	
		40.0	27.8	27.8	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計	13	7	6	0	0	26	14	6	9	1	0	30	
		50.0	26.9	23.1	0.0	0.0	100.0	46.7	20.0	30.0	3.3	0.0	100.0	
白金	自動車	18	17	5	0	0	40	9	8	7	1	2	27	
		45.0	42.5	12.5	0.0	0.0	100.0	33.3	29.6	25.9	3.7	7.4	100.0	
	バス	0	2	0	0	0	2	18	8	6	0	3	35	
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	51.4	22.9	17.1	0.0	8.6	100.0	
北部	徒歩	2	2	1	0	0	5	0	1	1	0	0	2	
		40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	
	合計	20	21	6	0	0	47	27	17	14	1	5	64	
		42.6	44.7	12.8	0.0	0.0	100.0	42.2	26.6	21.9	1.6	7.8	100.0	
全体合計	自動車	24	11	2	0	0	37	14	9	5	1	1	30	
		64.9	29.7	5.4	0.0	0.0	100.0	46.7	30.0	16.7	3.3	3.3	100.0	
	バス	0	1	4	1	0	6	17	13	10	0	0	40	
		0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	100.0	42.5	32.5	25.0	0.0	0.0	100.0	
松尾台	徒歩	5	8	5	0	0	18	1	2	3	5	0	11	
		27.8	44.4	27.8	0.0	0.0	100.0	9.1	18.2	27.3	45.5	0.0	100.0	
	合計	29	20	11	1	0	61	32	24	18	6	1	81	
		47.5	32.8	18.0	1.6	0.0	100.0	39.5	29.6	22.2	7.4	1.2	100.0	
伏見台	自動車	4	6	40	0	1	51	8	14	24	5	3	54	
		7.8	11.8	78.4	0.0	2.0	100.0	14.8	25.9	44.4	9.3	5.6	100.0	
	バス	0	0	4	3	2	9	7	5	14	5	1	32	
		0.0	0.0	44.4	33.3	22.2	100.0	21.9	15.6	43.8	15.6	3.1	100.0	
白金	徒歩	0	0	1	0	0	1	0	0	1	6	2	9	
		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	11.1	66.7	22.2	100.0	
	合計	4	6	45	3	3	61	15	19	39	16	6	95	
		6.6	9.8	73.8	4.9	4.9	100.0	15.8	20.0	41.1	16.8	6.3	100.0	
北部	自動車	66	36	68	4	3	195	88	66	80	24	12	270	
		33.8	18.5	34.9	2.1	1.5	100.0	32.6	24.4	29.6	8.9	4.4	100.0	
	バス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※無回答は除く

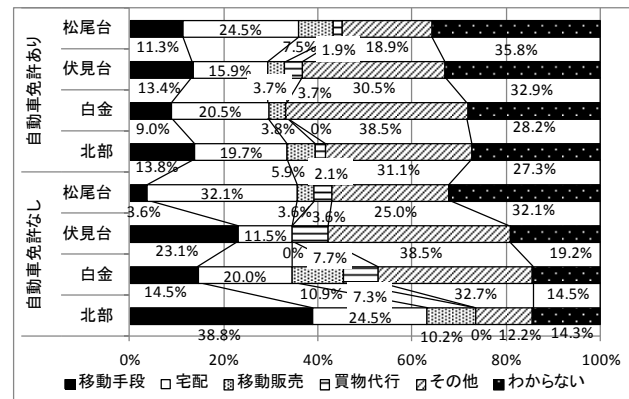


図-5 食料品購入のために求めるサービス

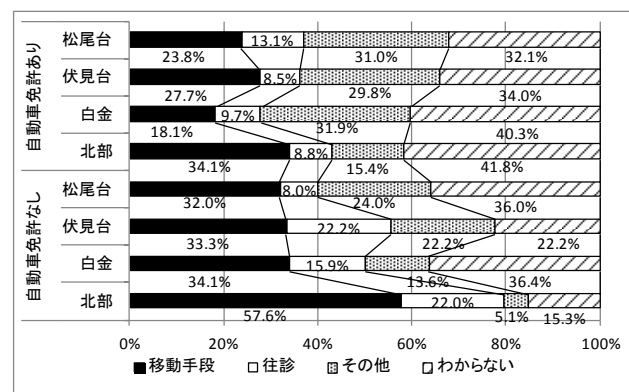


図-6 医療受診のために求めるサービス